

新人研修説明会 Q & A

■新人研修全般について

質問	回答
スペイン語の資格保有者ですが、研修は何語で行われますか。	研修の大部分は日本語で行われ、英語が使われるのは僅かですので、他言語の方にも受講いただけます。
新人研修の受講形態は選べますか？	座学講義は全て会場受講（東京）・Zoom受講（LIVE）・見逃し動画配信受講から選択可能です。実地研修は実施当日に直接参加いただく形のみとなります。
新人研修は全日程を受講する必要がありますか？1日参加できない場合など、どうしたら良いですか？	初年度で受けられなかった研修は翌年など別の機会に受け補完することができます。修了証は全ての日程を修了した際に発行しますが、それ以前でも業務アサインの対象にはなりません。※プレゼン演習の受講は基本的にアサインのための必須項目となります。寿司講師、茶道講師は、独自の認定制度があるので、プレゼン評価に関わらず、アサインの機会があります。
今年の新人研修は2月・3月の開催のみですか？	現在募集中の新人研修へのお申込み状況によっては、6月以降に同様の新人研修実施も検討いたします。また、富士山への一泊二日の研修や、京都でも新人研修で訪れないエリアの実地研修など、本年は各種多数実施する予定です。
新人研修について、見逃し配信と実地研修との組み合わせはどのように可能ですか？	座学講義は全て見逃し配信でご自身のご都合に合わせてご覧ください。実地研修については実際に出席が必要となるのでご都合を頂戴してください。情報のインプットはオンラインで、おおむね大丈夫です。しかし、実地研修は、現場でのパフォーマンス力アップが目的です。実地の現場でないと、パフォーマンスできないので是非、参加してもらいたい。
関西在住のため、関西に絞って新人研修に出て、後で関東の研修に出たいが大丈夫ですか？	大丈夫です。講義をオンラインで受講し、実地研修（京都・奈良・関西空港）に参加することで関西から出ることなく修了可能です。
今年2月・3月で新人研修の全日程を一気に受講するメリットはありますか？	メリットは、あります。全日程を一括で受講する場合、参加費が大幅に割引されます。また、実地研修を行う、東京・日光・箱根は数日間のツアーに参加する外国人旅行客が必ず訪れる場所であり、そのようなツアーに数日間同行するお仕事も多いため、この機会に全ての研修に参加されることをお勧めします。更に、極端なガイド不足のため、秋、又は来年春のスルー案件の公募が増えます。その時点で、関西又は関東のいずれかが欠けていれば、参加資格自体の範囲が狭まります。

新人研修に参加希望ですが、実地研修・プレゼン演習などに参加する際、服装規定などありますか？	特に規定はございません。しかし、著しくだらしない恰好やジーンズなどのラフすぎる服装は好ましくありません。一方、実際のガイドはツアーのお客様がガイドを見つけやすいよう目立つ服装を心がけています。
研修の際の服装が評価に影響を与えますか？	清潔感が無い、だらしないなど、身だしなみがガイドとして著しく不適切と思われる場合は評価にも影響するとお考え下さい。

■ プレゼン演習について

プレゼンテーションについて、予定が入ってしまっているのですが？	今回の新人研修ではチャンスは3回、3月6日と4月22日・23日にあります。今後は通年で4期(3月・6月・9月・12月)くらいチャンスを作る予定ですのでご都合に併せてご参加ください。
新人研修で関西・関東両方を受けた場合、プレゼンテーションの課題はどちらを選択すれば良いですか？	特に指定はございませんので、ご自身で任意に選択してください。関西テーマの方には関西に詳しい審査員が入るので、事前に必ずご希望を申告してください。
IJCEEの新人研修は、仕事の都合でどうしても受講できません。プレゼンテーション演習は、受講できます。このような場合は、いかがですか？	大丈夫です。IJCEEではプレゼン演習向きの実地カリキュラムを組んでいるが、他団体も実施地域は概ね被っています。但し、IJCEEのプレゼン演習を受けていないとTrue Japan Tourの業務はアサインはできません。
プレゼンテーション演習は一人一回のみしか受けられないのでしょうか？	何度でも再受講いただけます。アサインの際には、その中で一番高い評価を考慮します。再受講の場合は受講料も割引になります。
業務アサインを受けるには、プレゼンテーション演習でBマイナス以上の評価が必要とのこと。何回か受ける場合、最後の受講の評価が考慮されるのですか？	上記のとおり、最後ではなく、それまでに一番評価が高いものを考慮します。
参考のためのプレゼン演習のモデル動画はありますか？	ありません。問題は一覧があり事前にご準備いただけます。

■ 日本文化体験講師養成研修について

相撲稽古場見学や茶道、寿司づくりの研修は関西でもありますか？	相撲稽古場見学は、ある程度実施する予定です。大阪場所の前後に、提携の相撲部屋でのガイドの仕事がありますが、この場合、座学の受講は不可欠です。 茶道・寿司づくりは、関西に常設の施設がないためこの数年は実施していないが、一定の需要があれば開催も検討します。
--------------------------------	---

<p>寿司づくりなど、日本文化体験講師としてデビューするにはどうすれば良いのでしょうか？</p>	<p>当交流塾では各種日本文化体験プログラムの講師養成研修を実施しています。初級から中級・上級へと進むシステムを構築し、認定試験もごさいます。また、インターン制度を設け、研修→認定→インターン→講師デビューと、万全のサポート体制をとっております。</p>
<p>インターンについて、見ているだけですか、それとも手伝いますか？</p>	<p>手伝っていただきます。お客様に対しては「アシスタント」という立場で同席します。無給ですが、勉強する良い機会になります。</p>
<p>寿司や茶道体験講師養成研修などは、新人研修や旅程管理研修を修了後に受講するべきですか？</p>	<p>同時に受講することも可能です。体験講師養成講座は新人研修と別日程で実施しております。いち早く、様々な機会に対応できるよう、並行して受講いただけます。</p>

■旅程管理主任者について

<p>旅程管理主任者研修について、添乗実習は新人研修の現地研修で兼ねることができるということですが、座学は先に受けるのですか？</p>	<p>座学の先・後どちらでも OK。本資格取得には座学修了の前後 1 年以内に 1 回、もしくは修了後 3 年以内に 2 回添乗実習を受ける必要がある。但し、座学を先にやっておいた方が受講効果は高いです。</p>
<p>新人研修と旅程管理研修添乗実務の関係がわからないのですが？</p>	<p>これまで旅程管理研修の添乗実務は独自に開催していますが、利便性も考慮し、新人研修の現地研修への参加で旅程管理研修の添乗実務を兼ねられるようにしました。これにより、新人研修での現地研修数日間でもかなりの人数が旅程管理研修の添乗実務もカバーできるようになりました。実施の有効性は JATA の法規担当者でもある当交流塾会員に確認済みです。</p>
<p>旅程管理研修(オンライン座学)の最終試験会場は全国にありますか？</p>	<p>先ず、最終試験のみ現地での受験が必要となり、現在は東京・大阪のみで実施しております。しかし、今年に入り、同資格取得希望者が非常に増えており、要望の声が多くなれば上記以外の地域での開催も検討いたします。</p>
<p>主任者証は IJCEE で発行するのですか？その主任者証で他の旅行会社の業務も出来ますか？</p>	<p>旅行会社以外は主任者証が発行できないため、学校では座学講座のみの実施となることが多いです。一方、当交流塾(IJCEE)では併設の旅行会社(TJT)が主任者証を発行いたします。加えて、当グループではインターンでの現地研修など多くの機会を提供する予定です。尚、TJT の主任者証を持っていれば、大手の旅行会社も含め、他社でも添乗できます。</p>

■業務機会について

<p>日本文化体験講師として活躍したいと考えています。入会・新人研修は必要でしょうか？</p>	<p>日本文化体験講師に関しては新人研修・プレゼン演習の受講は必要ございません。また、全国通訳案内士の資格が無くてもOKです。但し、お仕事のアサインに関しては、英語などの言語能力が高いこと、当交流塾への入会が必要となります。</p>
<p>茶道講師のお仕事の機会はどのくらいありますか？</p>	<p>今年からJTBサンライズツアーと当交流塾の間で茶道体験提供の契約を結びました。東京ではコンスタントに週4回実施しており、会員様のお仕事の機会が高まっています。</p>
<p>文化体験講座（寿司体験など）は英語ガイドのみですか？他言語ガイドの募集もありますか？</p>	<p>中国語でのガイド募集の可能性がございます。現時点では英語がメインとなりますが、徐々に中国語圏（特に台湾・香港）の方も日本文化体験に興味を持ち始めています。</p>
<p>華道体験プログラムはありますか？</p>	<p>ございます。当グループでは大学の留学生に向けた華道体験プログラムを実施しています。FITでの華道体験の希望もあります。</p>
<p>短い時間の通訳の仕事はありますか、その際に旅程管理主任者の資格は必要ですか？</p>	<p>通訳としての仕事も入っています。職人とか技術系のモノづくり体験とかの通訳の需要があります。ガイドではなく通訳としての業務の場合、通常、旅程管理主任者の資格は問われません。</p>
<p>愛媛県在住（実家は東京で行き来は苦ではありません）ですが、関東・関西でお仕事を受注することはできますか？</p>	<p>可能です。但し、前泊等の宿泊費や交通費が支給されないことも多く都内などご実家などの拠点が必要かと思われます。また、お仕事の機会は東京・近畿だけでなく、四国や中国・九州などでも広く増加傾向にあります。まずは良く知る地元でのガイド業務でスキルを磨き、その後、東京や京都などにガイド業務の幅を広げた先輩ガイドも多いです。</p>
<p>現在、会社員で土日祝日しか、通訳ガイド業務はできません。旅程管理主任者を取ったら、土日祝日でお仕事ができる機会が増えるか？</p>	<p>増えると思います。現在、ある旅行会社から国内のお客様と海外のお客様を一緒に載せるツアーでの添乗業務の打診がある。国内のお客様は土日祝日が集客しやすいので、添乗業務の機会は多いです。</p>
<p>通訳ガイドと日本文化体験関係のお仕事について、閑散期や繁忙期がありますか？閑散期が心配です。</p>	<p>お仕事の量は3月・4月がピークとなり、12月はその10分の1くらいになります。オフシーズンがあるため、ガイド業だけでは食べて行けない、という問題はあります。当グループではガイド業に加え、日本文化体験事業や地方などでの観光事業従事者への教育事業も積極的に進めています。実際に、コロナ禍では、旅館の人に英語を教えたり、観光庁の依頼で飲食店や旅館向けテキスト作りを行いました。コロナ禍の影響により観光業従事者が</p>

	著しく不足しており、新たな人材への教育事業が増え、閑散期の全国通訳案内士の業務機会となるでしょう。一方、オフ期にはしっかり勉強してオンシーズンに備えることも重要です。
ロングのスルーガイド等、海外エージェントのアサイン試験の難易度は？	非常に難しく直近では12人が面接を受けて1名しか審査に通らなかった。これはエージェントというよりも、外国人観光客自体のガイドを見る目が非常に厳しいという事を理解してください。
IJCEEに入会しているが、直接仕事を受けるということについて、問題はありますか？	友人・知人などから依頼を受けて仕事をすることは全く問題ない。一方、エージェントから個人が仕事を得るのは非常に難しいと思います。

■クルーズ業務について

クルーズ船業務では、乗船してお仕事をするのですか？	違います。今回募集しているのは寄港地でのバスツアーの添乗ガイド業務となります。大きなクルーズ船の場合、1日に20台以上のバス手配があり、1台に1名の添乗ガイドが必要とされます。
クルーズ船の寄港地でのガイドのお仕事に興味があるが新人のため不安です。研修などありますか？	当交流塾の新人研修では訪れない地域（横浜・清水・高知など）では研修を実施する予定です。また、神戸・大阪での研修も検討しています。現在、深刻なガイド不足が生じており、エージェントは今年に限り、新人でも良いと言っています。新人の方には何らかの研修を受けて仕事に就いていただきたい。例えば、最初はインターンで実務のサポートについて学び、その後にガイドとしてアサインするなど。
クルーズ船のお仕事は寄港地の地元のガイドのみアサインされるのでしょうか？	地元の方以外でもアサインされる可能性はございます。寄港地の近くにお住まいの方が有利ではありますが、募集数も多く、寄港地以外に在住の方にもアサインの可能性はあり、その場合、宿泊先などはクルーズ会社より提供されることが一般的です。

■書籍について

入会時に付与される書籍について、種類が沢山あって迷っています。どれが良いですか？	『国際人のための基礎知識』『通訳案内士のための知識実務編』は新人研修のテキストになる。また、日本文化の基礎知識など、基本のものがおすすめ。ジャパニーズカルチャーシリーズも新人ガイドには非常に良い勉強になる。英語の発話力に不安がある方は、Ashさんのシリーズもネイティブの発音学習に適しています。
--	---

■ その他

まずは自分の居住する自治体でガイド登録をする
とのこと、登録証発行までに時間はかかります
か？それがないと、仕事につけませんか？

速やかに手続きをすることをお勧めします。法規的には
無資格でも有償ガイドはできるので、登録証の有無は絶
対的な条件ではありませんが、欧米系のエージェントやお
客様は特に全国通訳案内士資格保有を重視しています。
また、ガイド証があると施設などの入館料が無料になり
ます。